



西 みちよの6月議会報告

7月3日の台風、7月6日の記録的豪雨により被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

国の政治も、町の政治も



生活者の視点が大事！

一般質問 ☆誰もが安心++して住み続けられる岡垣町に

西 高齢に伴い、運転免許書を自主返納される方が多くなっています。その一方で、西鉄バスやコミュニティバス路線から離れている方は、やむなく運転を続けておられるのが現状です。公共交通では補完できない、高齢者の移動手段の確保についての検討状況は？

町長 公共交通という公助の仕組みだけで高齢者の移動手段を支えることには限界があります。高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らしていける環境づくりのためには、自助、互助、共助の取り組みを進める必要があります。行政のみならず地域全体で考えていかなければならない問題であると思います。



昨年朝倉市に開設された災害母子支援センター「きずな」

昨年九州北部豪雨により被災された朝倉市で、女性と子どもに特化して生活支援や相談に当たる「朝倉災害母子支援センターきずな」を昨年8月に訪問しました。



この施設を始められた大庭さんは、たくさんの方が集まる避難所では子どもの泣き声や授乳の心配など周りに気を使い、声が上げにくい状況にあったこと、避難所に行かず、車中で避難生活を送られたことなどを見聞きされて災害母子支援センターの必要性を感じられたそうです。平常時からの母子のための避難所の指定が必要なお話を話していただきました。

西 昨年の4月から認知症カフェの補助制度が開始され、現在町内では9か所で開催されています。認知症カフェは認知症の人やその家族、地域住民、専門職など誰もが気軽に集まることのできる集いの場です。この事業の一年間の評価と課題は？

町長 認知症カフェは認知症の方や介護する家族にとっても不安やストレスを軽減する効果があると考えています。



運営者との意見交換会では、担い手不足や移動手段に課題があると聞いています。今後も認知症の人の引きこもり防止などにつながるよう、カフェ運営者と意見交換しながら、誰もが参加したくなる場になるよう努めていきたいと考えています。

西 災害時の助け合いの仕組みづくりについてお尋ねします。現在、福祉避難所はいこいの里1か所のみです。災害時に高齢者や障がいのある人と母子が同じ空間ではお互いに気を使い疲れるのではないのでしょうか。配慮が必要な人のための福祉避難所の整備についての検討状況をお尋ねします。

町長 災害時や緊急時においても、地域での助け合いの取り組みが重要です。避難所の母子等への配慮については、地域防災計画を策定する上で、防災会議に女性委員を登用しており、女性の視点からの意見を聞きながら対応しています。福祉避難所の充実についても、地域の福祉事業所や保育所、幼稚園等と協議しながら、災害時に協力、連携しやすいしくみづくりを検討していきます。

★循環型社会づくりに向けて マイバッグ持参運動の推進を

西 ペットボトルやレジ袋など、陸上で捨てられたプラごみは、風や雨などで河川に運ばれ、海に流れ込みさらに波風や紫外線によって粉々に砕け、直径5ミリ以下のマイクロプラスチックとなります。なかなか分解しないため、海流によって世界中に広がり、有害な化学物質を吸着しやすく、また分解されにくい魚や貝に蓄積され、最終的に人が食べて、人体にも影響があると言われています。海に流れてしまうと回収は不可能なため、発生源の使用を減らすことが必要です。私たちにできること・・・**買い物時はマイバッグを持参し、レジ袋はいりません**ということから始めませんか？（環境の課題については表面をご覧ください）



ネット・岡垣の



サポーター募集中！

☆サポーター会員（年間1500円）募集中！

一年に3回ほど学習会や講演会などを開催する予定です。ふくおか市民政治ネットワークのサポーター会員になって一緒に学びませんか？

☆ニュース配布ボランティア募集中！

町民の皆様へ情報を発信するためニュースを年4回配布しています。ご近所に配布して下さる方を募集しています。